

2021年度
事業報告



特定非営利活動法人

東京多摩いのちの電話

目 次

ごあいさつ	1
2021 年度事業報告	2
2021 年度決算報告・2022 年度予算	..	6
2022 年度事業計画	9
役員・顧問・組織図	10
ご寄付感謝報告	11

ごあいさつ

皆様には、日頃より「東京多摩いのちの電話」の活動に、ご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大は、引き続き私たちの生活と社会に大きな影響を与え続けています。厚生労働省のまとめでは、2021年の自殺者数は、男性が前年比116人減の1万3939人で12年連続減少しましたが、女性は42人増の7068人と2年連続の増加となりました。また、年代別では20代が前年比90人増の2611人、50代が193人増の3618人となっています。コロナ禍との関係に明確なエビデンスがないとはいえ、とりわけ女性が仕事、家庭、生活、子育てなど様々な場面で悩み追い詰められていることを危惧いたします。また、若い世代の自殺者も引き続き高い水準にあります。本来必要である、追い詰められた人たちへの寄り添いや支援が、なかなか届きにくい状況の中で、私たちの活動が少しでもお役に立てることを心から願ってやみません。

誰にも相談できず、悩みを話すことのできない人々にとって、「いのちの電話」はよき隣人としての、市民として対話を続けてきました。私たちは、特定の専門に属さない、ごく当たり前の市民として、日々、人と人、心と心をつなげるために電話を取り続けています。いま、このあたり前の対話がなされることが、どれほど貴重なことであるのか、あらためて噛みしめ、社会的な価値に誇りをもって、進んでいければと考える次第です。

一方でコロナ禍において、私たちの活動にも困難が続いています。昨年度は、これまで取り組んできたバザー、公開講座、天下市、支援ボランティアの養成、講演会、街頭キャンペーンなど多くの事業を一時的に見送ることいたしました。2022年度も私たちにとっても厳しい環境が続くことが予想されます。その中で、コーラーの苦しみ、悩みを受けとめることのできる相談電話の質の向上や、活動しやすい組織づくりに協力して取り組んでいきたいと思っております。また、財務強化、相談員の養成・充実、普及啓発による理解の促進などを確実に積み上げて、次の飛躍に向かって組織全体を「ととのえる」一年にしていきたいと思います。

あらためて2021年度の諸活動への皆さまのご支援と働きに心から感謝申し上げます。2022年度も引き続き、東京多摩いのちの電話を担う私たち全員が相互に信頼し、各々が最善を尽くしともに進んでいくことをお誓い申し上げます。

特定非営利活動法人東京多摩いのちの電話
理事長 早借洋一

東京多摩いのちの電話 法人概況 (2022年7月現在)

設立	1985年6月1日
組織	理事16名 監事1名 顧問30名
相談員数	登録者150名 実働者114名
活動内容	電話相談・法律相談・フリーダイヤル相談
受信件数	9,533件(2021年1月～2021年12月)
運営費	年間約1,500万円
機関紙	広報紙「東京多摩いのちの電話」

2021年度 事業報告

I. 電話相談事業

A. 電話相談の現状(2021年1月～12月)

《電話受付体制》

電話相談受信時間帯 毎日(年中無休)10:00～21:00

第3金曜日 10:00～日曜日 21:00 まで連続受信

電話台数 3台

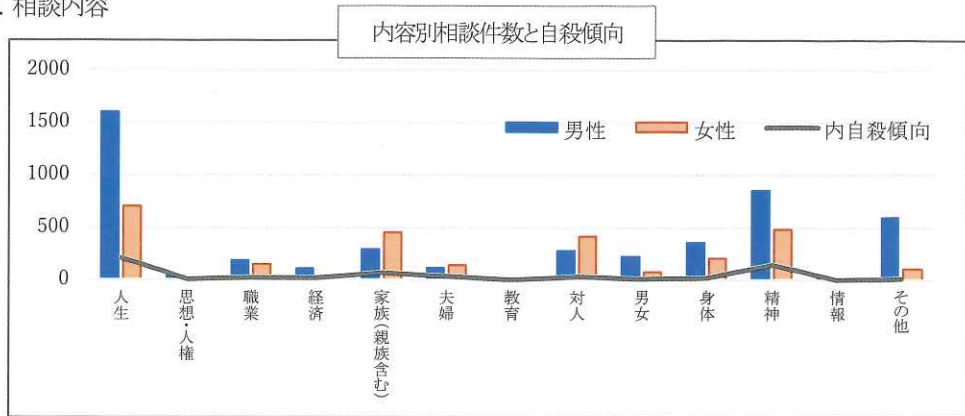
《受信状況》

1. 受信件数 9,533件(男性 5,587件 女性 3,946件)

*自殺予防いのちの電話を含む

*受信件数には、無言電話や通話中のためつながらなかった電話は含まない

2. 相談内容



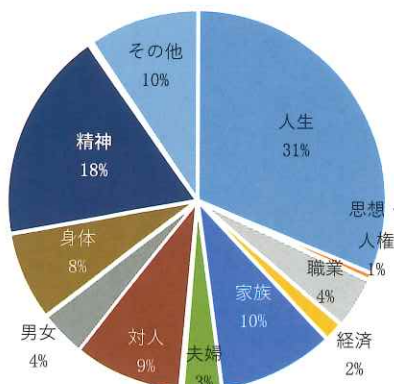
*折れ線グラフは受信件数に対する相談内容別自殺傾向のある相談件数(内数)を示す

*男女ともに生き方や孤独などを話す「人生」の相談(相談件数の31%)と、こころの病に関する不安や苦しみを訴える「精神」の相談(相談件数の18%)が多い。

*次いで男性は「身体」や「家族」、女性は「家族」や「対人」の相談が多い。

【内容別相談件数】

単位:件

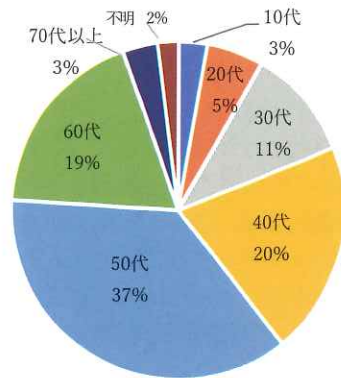


	男性	女性	合計	自殺傾向	自殺傾向割合(%)
人生	1598	698	2296	209	9.1
思想・人権	33	11	44	5	11.4
職業	180	143	323	21	6.5
経済	103	22	125	19	15.2
家族(親族含む)	287	446	733	67	9.1
夫婦	110	134	244	33	13.5
教育	7	8	15	1	6.7
対人	275	410	685	32	4.7
男女	220	70	290	10	3.4
身体	354	202	556	22	4.0
精神	852	477	1329	143	10.8
情報	14	12	26	1	3.8
その他	593	100	693	14	2.0
合計	4626	2733	7359	577	7.8

【年代別相談件数】

単位:件

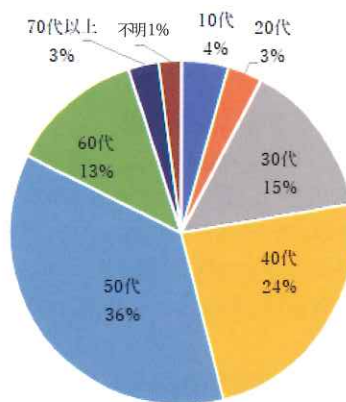
年代	男性	女性	合計
9歳以下	0	0	0
10代	176	22	198
20代	271	132	403
30代	516	274	790
40代	879	627	1506
50代	1859	833	2692
60代	716	654	1370
70代以上	91	157	248
不明	118	34	152
合計	4626	2733	7359



【自殺傾向】

単位:件

年代	男性	女性	合計
9歳以下	0	0	0
10代	12	1	13
20代	9	20	29
30代	41	43	84
40代	66	88	154
50代	101	107	208
60代	35	30	65
70代以上	8	9	17
不明	6	1	7
合計	278	299	577



B. 2021年「自殺予防いのちの電話」「毎日フリーダイヤル」の内訳

厚生労働省自殺防止対策事業 2021年1月～12月

東京多摩いのちの電話受信件数 2,174件(男性 961件 女性 1,213件)

うち自殺傾向 502件(男性 212件 女性 290件) 23.1%

C. 24時間電話相談(毎月第3金曜日 21時～日曜日 21時)

2021年1月～12月の受信の内訳 深夜 191件 早朝 86件 合計 277件

うち自殺傾向 34件(12.3%)

D. 弁護士による法律相談

2021年4月～2022年3月の受信

相談電話番号 042-328-4343

相談日 毎月第1・第3火曜日 16:00～18:00

相談件数 54件(男 26件 女 28件)

受信時間 35時間48分(1件当たり約40分)

*2021年度の受信状況は、緊急事態宣言の間の活動休止があった前年と比べ件数は増加した。

1件当たりの受信時間は前年とあまり変わらない。

*男女比は48対52だった。

*相談内容は、「離婚」に関する相談、「夫婦」に関する相談が多いが、相続と金銭、相続と夫婦関係など一つの問題からいくつかの問題に派生している内容も見られた。

II. 自殺予防のための普及・啓発事業

A. 広報

1. 広報紙グループ

- ・広報紙発行 3回

4月(第111号) 3,500部、8月(第112号) 4,000部、12月(第113号) 4,000部
連続企画「コロナ禍の中で」でインタビュー形式の取材を実施した。

各回レイアウトに工夫している。

- ・企画・編集会議 8回、 発送作業 3回

2. ホームページグループ

- ・委員会 1回 ホームページの見直しと更新の検討をした。

- ・ホームページ更新作業 随時実施している。

B. 事業報告冊子 1,500部作成

C. バザー 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

D. 自殺予防いのちの電話公開講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

E. 支援ボランティア養成講座

内容:いのちの電話を支えるボランティア活動の理解、ボランティア登録を目的として開催する。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、開催しなかった。

支援ボランティア打合せ会

内容:いのちの電話を支えるボランティアが定期的集まり、活動の調整、課題の共有、交流を行う。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、オンラインによる開催となった。

III. 電話相談員養成事業

A. 相談員養成研修 前期・後期研修を1年半にわたり実施

研修の課題 ①基礎的な知識学習(講義 前期・後期)

②対人関係基礎訓練(前期)

③ロールプレイ研修(前期・後期)

④スーパービジョン(前期)

⑤インターンシップ(後期)

1. 前期研修(37期生)

- ・ロールプレイⅠ(2021年5月～2021年7月・20時間)

- ・スーパービジョン(2021年8月～2021年10月・1名×2回)

- ・講義(実施順) 「中高年の危機」 福島眞澄(2021年5月)

「精神疾患とは」 嶋田博之(2021年5月)

「コミュニケーション演習」 中根伸二(2021年7月)

2. 後期研修

36期生 ・ロールプレイⅡ(2021年4月～2021年6月・10時間)

- ・講義 「心のケアと社会資源」 西原雄次郎(2021年5月)

- ・インターンシップ(2021年4月～2021年8月)

37期生 ・ロールプレイⅡ(2022年1月～2022年4月・10時間)

- ・講義(実施順) 「心を病む時代の心を聴くこと」 高塚雄介(2021年12月)

「電話相談と法律」 和泉貴士(2022年1月)

「ホスピスと緩和ケア」 山本美和(2022年2月)

「心のケアと社会資源」 西原雄次郎(2022年3月)

「相談事例と自己理解」 鉅鹿健吉(2022年4月)

・インターンシップ(2022年1月～2022年5月・1名×5回)

B. 相談員研修

1. スーパービジョン(2021年11月～2022年8月) 2～34期生と35～36期生に分けて実施中
35～36期生 3グループ(2022年4月～8月)
2～34期 グループ無しで個人モニターのみ(2021年11月～2022年8月)
2. ワークショップ 同じ内容でzoomと集合で実施(9月、10月)

C. その他の研修

1. リフレッシュ研修 2021年12月～2022年4月に実施
2. アドバンス研修 2021年11月～2023年7月に実施中
3. シニアワーカー課題別研修
ロールプレイコース(2021年11月)
スーパーバイザーコース(2022年3月)
(対人関係基礎訓練は中止)
4. 危機介入研修
アンケート実施(7月)
継続グループごとに実施(2021年9月～12月)

IV. 社会教育推進事業

公開講演会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

V. 他団体とのネットワーク構築事業

1. 自治体自殺対策所管担当者への訪問と情報交換
多摩地区の26市3町1村毎に担当者を設置することにより、東京多摩いのちの電話と自殺対策所管との顔の見える関係を作り、情報交換や課題の共有を行った。
2. 市町村長の顧問就任
三多摩の自治体首長に働きかけを継続し、2022年3月31日現在26首長が顧問になっている。
3. 連携協定の締結
自殺防止や心の健康づくり等、必要に応じた自治体との連携を図るため、2019年2月15日立川市と事業連携協定を締結した。
2021年度は活動なし。
4. 街頭キャンペーンやイベントでの共同行動 新型コロナウイルス感染症の影響により活動なし
5. 行政の自殺対策協議機関等への参画
町田市(2021年4月22日 リモート開催、 2021年10月11日 リモート開催
2022年1月20日 書面開催)
八王子市(2021年5月17日 書面開催)
あきる野市(2022年3月24日 書面開催)
南多摩二次医療協議会 健康づくり部会(2022年3月24日 書面開催)
6. 自治体主催のゲートキーパー研修・講演会の講師派遣
狛江市(2021年9月15日、2022年3月10日)
国分寺市(2022年1月31日)
小金井市(2022年2月16日×2回、2022年2月17日×2回)
7. 「JR 東日本いのちのホットライン」2022年3月12日、13日参加

2021年度 決算報告

2022年3月31日現在

【収入の部】

科 目	
受取会費	
正会員受取会費	465,000
賛助会員受取会費 個人	698,000
賛助会員受取会費 団体	173,000
受取会費計	1,336,000
受取寄付金	
電話相談員養成事業指定寄付	0
特別寄付	1,000,000
個人	5,045,460
団体	3,716,178
受取寄付金計	9,761,638
受取助成金等	
受取助成金	3,211,740
受取補助金	1,677,237
受取助成金等計	4,888,977
事業収益	
電話相談事業	0
自殺予防のための普及・啓発事業	0
電話相談員の養成事業	770,000
社会教育推進事業	0
他の団体とのネットワーク構築事業	160,319
その他目的を達成するために必要な事業	
事業収益計	930,319
その他の収益	
受取利息	370
雑収益	10,916
その他の収益計	11,286
当期経常収益計	16,928,220

【支出の部】

科 目	
事業費	
人件費	
給料手当	3,457,928
通勤費	436,896
法定福利費	15,510
人件費計	3,910,334
その他経費	
バザー経費	0
業務委託費	78,000
諸謝金	1,889,255
電話相談員養成事業助成費(特定資産取崩分)	160,000
印刷製本費(事業)	117,460
会議費	0
会場費	228,351
旅費交通費(事業)	39,000
通信運搬費(事業)	538,397
消耗品費(事業)	994,766
水道光熱費(事業)	235,342
地代 家賃(事業)	1,131,000
賃借料	0
研修費	0
減価償却費(事業)	204,052
雑費(事業)	33,462
その他経費計	5,649,085
事業費計	9,559,419
管理費	
人件費	
給料手当	960,000
通勤費	45,216
人件費計	1,005,216
その他経費	
印刷製本費	189,045
旅費交通費	0
通信運搬費	181,268
消耗品費	23,240
事務用品費	190,124
修繕費	214,324
水道光熱費	139,688
地代 家賃	609,000
賃借料	385,440
広告宣伝費	0
新聞図書費	3,062
減価償却費	109,874
慶弔費	31,088
リース料	0
租税 公課	2,900
支払手数料	104,870
諸会費負担金	380,000
雑 費	1,375
その他経費計	2,565,298
管理費計	3,570,514
当期経常支出合計	13,129,933

【経常外増減の部】

経常外収益計	
過年度損益修正益	
過年度収益修正損	
固定資産除却損	2
過年度損益修正損	100
経常外費用計	102
経常外増減額	1,145

【正味財産増減の部】

当期正味財産増減額	3,799,432
前期繰越正味財産額	3,040,809
次期繰越正味財産額	34,207,241

貸借対照表

2022年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金 合計	14,797,484	未 払 金	185,414
未 収 金	30,900	前 受 金	308,000
前払 費用	167,776	預 り 金	16,632
流動資産合計	14,996,160	流動負債合計	510,046
【固定資産】		負債合計	510,046
(有形固定資産)		正 味 財 産 の 部	
建物・器具・備品	7,653,686	【正味財産】	
減価償却累計額	-4,812,512	前期繰越正味財産額	30,407,809
有形固定資産 計	2,841,174	当期正味財産増減額	3,799,432
(無形固定資産)		正味財産 計	34,207,241
電話加入権	400,464	正味財産合計	34,207,241
無形固定資産 計	400,464		
(投資その他の資産)			
電話相談員養成引当 特定預金	479,489		
多摩信金 定期預金 3808661-01	15,000,000		
多摩信金 定期預金 3808661-00	1,000,000		
投資その他の資産 計	16,479,489		
固定資産合計	19,721,127		
資産合計	34,717,287	負債及び正味財産合計	34,717,287

2022年度 予算

2022年3月31日現在

【収入の部】

科 目	
受取会費	
正会員受取会費	460,000
賛助会員受取会費 個人	700,000
賛助会員受取会費 団体	160,000
受取会費計	1,320,000
受取寄付金	
個人	4,500,000
団体	3,000,000
受取寄付金計	7,500,000
受取助成金等	
受取助成金	2,000,000
受取補助金	1,000,000
受取助成金等計	3,000,000
事業収益	
電話相談員の養成事業	990,000
他の団体とのネットワーク構築事業	65,000
事業収益計	1,055,000
その他の収益	
受取利息	1,000
雑収益	2,104,500
その他の収益計	2,105,500
当期経常収益計	14,980,500

【支出の部】

科 目	
事業費	
人件費	
給料手当	4,240,000
通勤費	500,000
法定福利費	20,000
人件費計	4,760,000
その他の経費	
諸謝金	2,000,000
電話相談員養成事業助成費(特定資産取崩分)	500,000
印刷製本費(事業)	150,000
会場費	320,000
旅費交通費(事業)	35,000
通信運搬費(事業)	730,000
消耗品費(事業)	1,000,000
水道光熱費(事業)	250,000
地代 家賃(事業)	1,130,000
研修費	100,000
減価償却費(事業)	200,000
雑費(事業)	110,000
その他経費計	6,525,000
事業費計	11,285,000
管理費	
人件費	
給料手当	1,050,000
通勤費	50,000
人件費計	1,100,000
その他経費	
印刷製本費	250,000
通信運搬費	200,000
事務用品費	100,000
修繕費	240,000
水道光熱費	120,000
地代 家賃	610,000
賃借料	300,000
新聞図書費	2,500
減価償却費	240,000
慶弔費	30,000
租税 公課	3,000
支払手数料	120,000
諸会費負担金	380,000
その他経費計	2,595,500
管理費計	3,695,500
当期経常支出合計	14,980,500

2022 年度事業計画

I. 事業の成果

特定非営利活動法人東京多摩いのちの電話の基盤強化を図り、電話相談活動を安定的に維持する。活動として (1)電話相談 (2)普及・啓発 (3)養成 (4)社会教育 (5)他団体との連携 (6)財源確保などの事業強化を図る。

II. 事業の実施に関する事項

(1)電話相談事業 (2022年1月1日～2022年12月31日)

- A. ボランティア相談員による電話相談 (毎日 10:00～21:00)
- B. 自殺予防いのちの電話 (毎月 10 日 8:00～翌 8:00 24 時間)
自殺予防いのちの電話毎日フリーダイヤル (毎日 16:00～21:00)
- C. 24 時間電話相談 (毎月第 3 金、土曜日 24 時間)
- D. 弁護士による法律相談 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日 毎月第 1、第 3 火曜 16:00～18:00)

(2)自殺予防のための普及・啓発事業

- A. 広報紙 11,000 部発行(2022 年 4 月、8 月、12 月)
- B. 事業報告冊子 1500 部発行(2022 年 7 月)
- C. バザー(広報活動のブースを特設、今年度は中止)
- D. 「自殺予防いのちの電話」公開講座(検討中)
- E. 支援ボランティア養成講座(実施予定)
支援ボランティア打ち合わせ会

(3)電話相談の養成事業

- A. 相談員養成研修(講義、体験学習等、毎月 2 回程度)
- B. 相談員継続研修(8 月を除く毎月)
ワークショップ研修(2022 年 9 月、2023 年 3 月)

(4)社会教育推進事業

- 公開講演会(検討中)

(5)他の団体とのネットワーク構築事業

- A. 自治体自殺対策所管担当者への訪問と情報交換(年間不定期)
- B. 街頭キャンペーンやイベントでの共同行動(年間不定期)
- C. 他の団体とのネットワーク構築事業(検討中)

役員・顧問・組織図

2022年7月1日現在

役員・顧問

【理事】(16名)

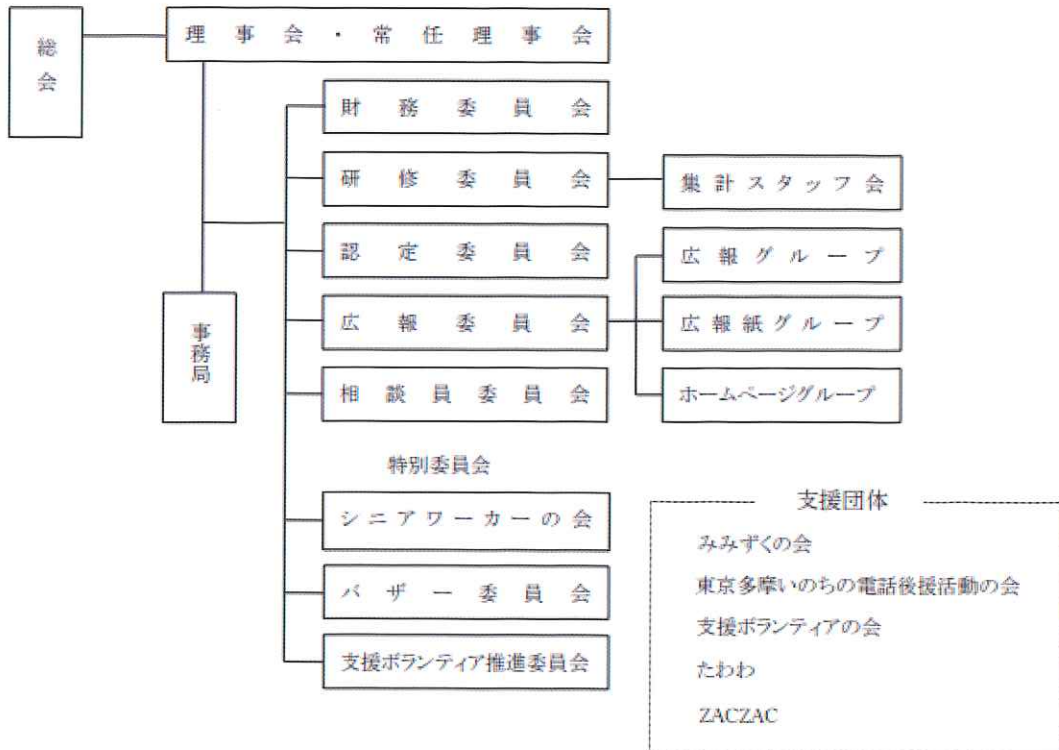
浮田 千枝子	鉦鹿 健吉	岡林 秀樹	小原 彰子	清水 康雄	鶴 清忠 (副)
中嶋 献児(副)	橋口 英二郎	早借 洋一(正)	福島 眞澄	古舘 敏代	星野 太郎
三宅 正史	森田 麻里子	山口 直樹	吉野 敦子		

【監事】(1名) 井出 典子

【顧問】(順不同敬称略)

野々山 哲郎(弁護士)	松本 俊彦(精神科医)	菅谷 淳(公益財団法人東京YMCA 代表理事)
高塚 雄介(明星大学教授)		
西岡 真一郎(小金井市長)	井澤 邦夫(国分寺市長)	高野 律雄(府中市長)
阿部 裕行(多摩市長)	石阪 丈一(町田市長)	高橋 勝浩(稲城市長)
加藤 育男(福生市長)	池澤 隆史(西東京市長)	村木 英幸(あきる野市長)
渡部 尚(東村山市長)	坂本 義次(檜原村長)	田村 みさ子(日の出町長)
師岡 伸公(奥多摩町長)	杉浦 裕之(瑞穂町長)	浜中 啓一(青梅市長)
尾崎 保夫(東大和市長)	永見 理夫(国立市長)	藤野 勝(武蔵村山市長)
橋本 弘山(羽村市長)	松原 俊雄(狛江市長)	大坪 冬彦(日野市長)
澁谷 桂司(清瀬市長)	松下 玲子(武蔵野市長)	長友 貴樹(調布市長)
小林 洋子(小平市長)	石森 孝志(八王子市長)	

組織図



ご寄付感謝報告(2021.4.1～2022.3.31)

賛助会・寄付金等にご支援をいただき、ありがとうございました。

【個人】

相原 礼子	青木 一穂	赤城 毅	浅井 房代	阿部 愛子	新垣 剛
荒川 恵津子	荒川 良子	栗田 広美	安齋 瑠美	安藤 裕子	飯田 勝人
五十嵐 明子	池田 清江	池田 サチ江	伊佐 節子	井坂 トキ	去来川 信子
石川 紀子	石川 義博	石河 正樹	石栗 秀美	石田 鈴美	石塚 明男
イシワタ エイコ	伊豆 光枝	射落 薫	伊集院 衣恵	磯部 明子	市江 正人
井出 典子	伊藤 博子	伊藤 陽子	稲葉 婦乃子	稲葉政満	井上 啓子
井上 恵子	岩井 通子	岩田 淳子	上石 史子	殖栗 信夫	植田 宏樹
牛丸 三枝	牛山 啓	打木 杜季	内田 さよ子	内田 隆	打田 迪子
内野 佳世子	内山 紀枝子	江島 廣子	遠藤 里香	笈川 光郎	相知 裕子
大串 國廣	大川 博之	大久保 宜子	大場 典子	大橋 雅子	大山 陽子
岡崎 京子	岡部 奈美子	尾川 公子	荻野 洋子	小栗 勝子	長内 久美子
おそど あきこ	尾上 文江	落合 文雄	小原 彰子	海保 英夫	加賀野井 秀一
加賀野井 良子	影山 隆之	粕谷 与一	加藤 純	加藤 泰子	加藤 祐子
門垣 芳之	角谷 久仁子	金崎 好江	狩野 明子	川上 亜子	川木 雅樹
川崎 葉子	川延 宗之	河村 智恵子	岸野 和夫	北原 有機夫	北見 里花
菊岡 ゆき	木村 明子	木村 悦子	許士 麗子	楠 久美子	國井 裕子
久保 洋子	久保井 知子	久保田 たか子	熊谷 マリ子	熊木 葉子	久山 道子
栗木 俊廣	栗木 美代子	小穴 孝子	河野 はるみ	小勝 佐知子	小金井 美樹子
小杉 幸子	小林 永子	小林 京子	小林 幸子	小林 房子	小林 道彦
小林 裕子	小林 由巳	小松 一恵	小山 君枝	小山 モト子	近藤 弘志
近藤 美樹	齋藤 尚子	坂田 玲子	坂本 並子	佐々木 國夫	佐々木 文子
佐藤 智子	佐藤 尚子	佐藤 裕子	佐藤 文孝・裕子	佐野 慎子	佐野 美保子
猿谷 明	塩谷 暢生	重村 朋子	柴田 綾子	柴田 平三郎	島津 京子
清水 恵美子	清水 敏久	清水 康雄・厚子	清水 由美子	下村 明矢・羽妙	庄子 隆之
白川 真弓	白崎 けい子	城石 敏恵	須賀 知行	杉村 昭宏	杉村 宏之
杉村 祐貴子	杉本 早美	鈴木 豊子	鈴木 奈加子	鈴木 麻里	鈴木 由希
鈴木 洋子	須山 弘子	清家 絢子	清野 富子	関口 椰津子	関塚 恵子
関戸 克子	台 とみ子	多賀 努	高井 住和	高木 敦子	高橋 瑛子
高橋 省	高橋 千秋	高村 真	瀧井 恭夫	瀧井 正子	瀧口 淳子
瀧山 勝久	田尻 智子	竹中 勇	武田 英敬	竹田 正美	武田 美智子
武智 京子	竹之下 和子	多田 理子	田附 和久	辰巳 洋子	田所 良平
田中 あい子	田中 信子	棚橋 佳子	玉木 圭子	田邊 俊美	玉置 晶子
田村 慶子	丹生 優子	千木良 美智子	千種 享子	調子 博久	對馬 純子
対馬 眞堵美	土屋 定子	土屋 道子	鶴 清忠	鶴田 美紀	富塚 康子
鳥海 明美	虎谷 美保	中川 享子	中川 満	中嶋 猷児	中嶋 直子
中田 武司	中島 敏明	中野 克子	中野 龍夫	中村 孝枝	中村 従子
中山 淳子	南雲 千恵	那須 史子	七星 妙	並木 信一	並木 博・泰子
成田 順子	南北 逸子	新見 節子	西岡 房子	西川 陽子	西田 真有美
新国 基子	野澤 まり子	野田 順子	萩野 和一郎	橋渡 志保子	橋本 晃一
橋本 優子	橋本 芳子	長谷部 咲子	花野 知子	馬場 弘	濱住 玲子
浜野 喜美江	林 道子	早借 洋一	針尾 節子	半田 雅子	彦坂 幸子
比留間 悦子	広瀬 洋子	廣部 綾子	福地 和子	福島 眞澄	福永 径子

藤井 江理子	藤本 祐子	藤本 義明	伏屋 弓子	府野 絹子	麓 元子
古田 信子	古舘 敏代	古畑 美代子	細江 謨夫	細田 公夫	細田 満理
前田 知恵子	益子 貞子	益子 豊	松井 敬子	松沢 はるみ	松下 清子
松平 一美	松平 輝夫	松平 信人	松村 厚子	松村 淳子	松本 明子
三木 キヌ子	緑川 貞子	緑川 やす子	箕輪 育子	宮城 雅子	宮村 正廣
宮本 朋子	三好 裕子	目黒 廣子	向井 叔	村田 藤江	村野 雅義
村守 黎子	望月 治代	望月 二三子	本木 長寿	本橋 真弓	森 ポ蘭
森 美知子	森田多美子	森田 麻里子	モリハラ ヤスヒト	師岡 智	八田部 節子
柳原 美奈子	矢野 淑子	藪田 久子	山口 直樹	山崎 美也子	山科 満
山田 真	山田 道子	山徳 幸子	山田 一能	山宮 千恵	山宮 庸司
山本 英司	床井 薫	結城 春枝	吉井 節子	吉田 きみ子	吉田 司
吉田 由美子	吉野 敦子	吉野 伸子	吉原 伊津子	米山 秋恵	和田 仁恵
渡辺 美恵子			匿名 75名	氏名未記入 19名	

*昨年度の事業報告に、菊岡 ゆきさま と、松村 淳子さま のお名前が載っていませんでした。
お詫びして訂正いたします。ご支援ありがとうございました。

【団体】

医療法人三芳会 (株)ダイナックス (株)ナビックス (株)貫井総業 (株)八洋 カトリック調布教会
 上石神井サン・クリニック小西正樹 カンバーランド長老キリスト教会めぐみ教会
 カンバーランド長老キリスト教会国立のぞみ教会 キリスト教たんぽぽ教会 国際ソロプチミスト青梅
 シチズン時計(株) 下山口キリスト教会 (社)グリーンウッド 聖霊修道院
 セブンスデー・アドベンチスト多摩永山キリスト教会 祖師谷保育園 多磨教会 多摩友の会
 東京多摩いのちの電話後援活動の会 東京多摩いのちの電話支援ボランティア手作りチーム
 東京都生命保険協会 東京八王子ワイズメンズクラブ 東京 YMCA にしの木クリニック
 日本基督教団阿佐ヶ谷教会 日本基督教団国立教会 日本基督教団八王子教会
 日本キリスト教団国分寺教会 日本基督教団狛江教会 日本キリスト教団高幡教会
 日本キリスト教団東久留米教会婦人会 日本基督教団ひばりが丘教会
 日本基督教団三崎町教会みさき基金箕口雄介 日本聖公会東京教区 日本ネスレ 日本聾話学校
 貫井南町キリスト教会 ひなぎく幼稚園 福音史家聖ヨハネ布教修道会 ボランティアグループふらっと
 町田市医師会 町田福音キリスト教会 (有)信和ハウス (有)マコロ (有)堀井印刷堀井堯
 (有)ももしし 四谷新生教会 匿名 4団体

【助成金支援団体】

YAHOO!JAPAN 基金 公益財団法人日本財団 公益財団法人森村豊明会
 赤い羽根共同募金 イオンイエローシートキャンペーン

*お名前には十分注意しておりますが、間違いや、漏れがありましたらお知らせください。
 *匿名掲載をご希望の方は事務局までお知らせください。

あなたのご支援を東京多摩いのちの電話の活動に

東京多摩いのちの電話は、個人や団体、企業のご支援によって支えられ活動しています。あなたのご協力を得て、心疲れた人々の心を聴き共に歩む、そんな活動を今後も続けていきたいと願っています。ご支援をよろしく申し上げます。

A. 東京多摩いのちの電話の賛助会員になってください。

①個人会員 年額 一口 3,000円 5,000円 10,000円 50,000円

②法人・団体会員 年額 一口 30,000円 50,000円 100,000円 500,000円

B. 寄付金にご協力ください。金額は自由です。

(振込先) 郵便振替: 00100-7-168778
銀行振込: 多摩信用金庫 国分寺南口支店(普)025969↓
口座名義: 特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話

発行日 2022年7月1日

発行人 理事長 早借洋一

特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話

〒185-0012 東京都国分寺市本町郵便局留

事務局 TEL 042(328)4441 FAX 042(328)4440

<https://www.tamainochi.com>

特定非営利活動法人**東京多摩いのちの電話**

相談電話 042(327)4343

相談時間 午前10時～午後9時(年中無休)

毎月第3金・土曜日 24時間

法律相談 042(328)4343

相談時間 毎月第1・第3火曜日 午後4時～午後6時

